

- このスライドは、非営利かつ個人的な目的に限り閲覧することができます。

The following presentation slides are shared with symposium participants exclusively for personal, non-commercial, educational purposes.

- このスライドの著作権は、講演の発表者本人に帰属します(図表等の引用箇所は除く)。如何なる国・地域においても、また紙媒体やインターネット・電子データなど形態に関わらず、スライドの全部または一部を無断で複製、転載、配布、送信、放送、貸与、翻訳、販売、変造、二次的著作物を作成すること等は、固く禁止します。

Copyright of these slides belongs to the presenter and/or the Radiation Medical Science Center for the Fukushima Health Management Survey, Fukushima Medical University (except figures, tables, etc., cited from other sources). It is strictly prohibited to reproduce, reprint, distribute, transmit, broadcast, loan, translate, sell, modify, and/or create derivatives of any slides, in any physical or electronic medium anywhere in the world.

2024年 福島県立医科大学『県民健康調査』国際シンポジウム
公立大学法人福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター
国際シンポジウム事務局(広報・国際連携室)

✉ kenkani@fmu.ac.jp Tel: 024-581-5454(平日9~17時)

2024 Fukushima Medical University International Symposium on the Fukushima Health Management Survey

Secretariat of International Symposium

Office of Public Communications and International Cooperation, Radiation Medical Science Center for the Fukushima Health Management Survey, Fukushima Medical University

✉ kenkani@fmu.ac.jp, TEL: +81-24-581-5454 (Weekday, 9a.m. - 5 p.m. JST)

県民健康管理センターの被災市町村に対する リスクコミュニケーションと支援活動

福島県立医科大学

医学部 健康リスクコミュニケーション学講座

放射線医学県民健康管理センター リスクコミュニケーション室

田巻 倫明

福島県「県民健康調査」

目的：東京電力福島第一原子力発電所事故による放射性物質の拡散や避難等を踏まえ、県民の被ばく線量の評価を行うとともに、県民の健康状態を把握し、疾病の予防、早期発見、早期治療につなげ、将来にわたる県民の健康の維持、増進を図ること

調査

— 健康状態を把握し、見守る

支援

— 県民に寄り添い、健康の維持・増進を支援する

基本調査

原発事故後、4か月間の行動記録を基に外部被ばく線量を推計。

回答頂いた皆様（R5年3月現在：県民約56万9千人）一人ひとりに推計した外部線量被ばく線量を通知し、将来にわたる健康管理に役立てて頂いている。

問診票に事故後4か月間の行動記録を記入し、送付

3 平成23年(2011年)3月11日から7月11日までの間の居住地や日常行動パターンについてお問い合わせします。

期 間	居 住 地
事故直後 3/11日	<input type="checkbox"/> 同じ <input type="checkbox"/> 隣の市町村 <input type="checkbox"/> 別の市町村 <input type="checkbox"/> 避難先 <input type="checkbox"/> 他県 <input type="checkbox"/> 海外
↓ __月__日	市 町 村 都 道 府 県

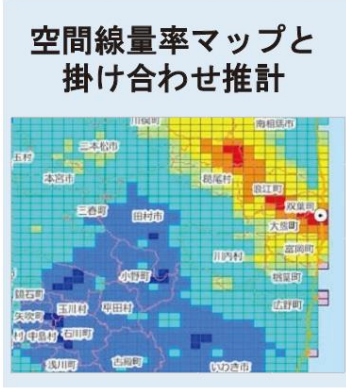
①この期間の居住場所は、ホームページで登録した住所と同じですか？
同じ 隣の市町村 別の市町村 避難先 海外
異なる（下記に記入ください。）
市 町 村 都 道 府 県

②居住地の途中でこの期間、平均的にみると居住地にいない期間は、1日あたり何時間ですか？
2 避難先での生活時間、平均的にみると居住地にいない期間は、1日あたり何時間ですか？
0時間 1時間 2時間 3時間以上

③避難先での生活（避難先や学校など）はありましたか？
はい いいえ（この欄は記入不要）

④はい はい いいえ（この欄は記入不要）
市 町 村 都 道 府 県

⑤この期間中の滞在場所は、「避難先など」のいずれですか？
屋内 避難 屋外 避難
外出する場合は？(○で選択) 月・火・水・木・金・土・日
外出する場合は？(○で選択) 月・火・水・木・金・土・日
外出する場合は？(○で選択) 月・火・水・木・金・土・日



外部被ばく実効線量推計結果のお知らせ

福島県県民健康調査「基本調査」による外部被ばく実効線量の推計結果をお知らせします。

あなたが(線量推計期間の終了日)までに受けたと推定される外部被ばく実効線量は、

(推計された線量(mSv))

推計方法
提出された問診票の行動記録(場所、時間、屋内外等)の情報をもとに、放射線医学総合研究所による外部被ばく線量評価システムを使用して、放射線を体外から受けた被ばく線量を推計しています。
行動記録の情報化に際し、電話等で確認できた範囲での修正や必要により可能な範囲内の補記を行っている場合があります。



図-7 線量推計結果の通知様式

健康診査

支援③ 分析結果報告書の作成 → **13市町村連絡会で提供**

支援④ 健康セミナーの開催

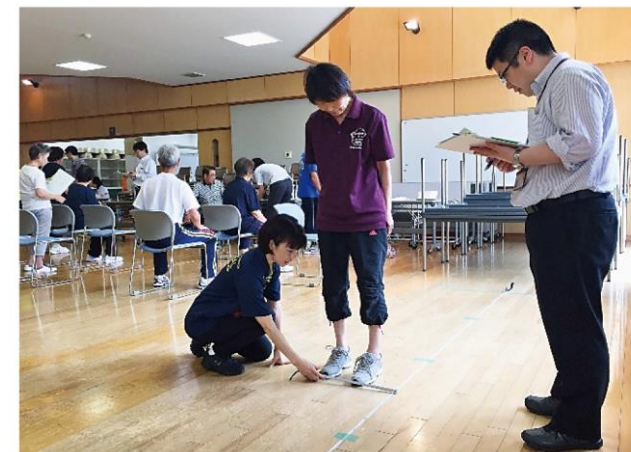
市町村が実施する健診結果報告会や健康教室等の機会に実施



医師による健康講話



専門職による個別相談



運動指導 ステップテスト

平成28年度から令和4年度まで
計**177**回実施

甲状腺検査

一次検査サポート：

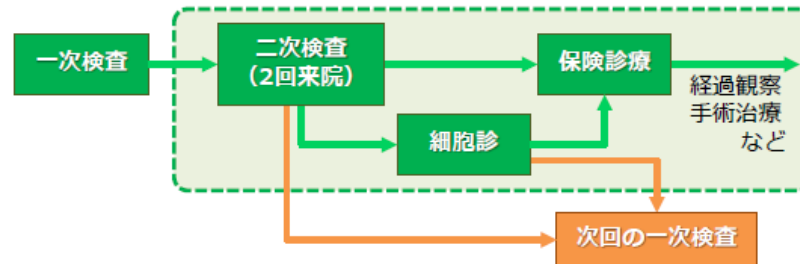
医師が超音波画像を示し暫定的に結果を説明



結果説明ブース

二次検査サポート：

看護師、精神保健福祉士、臨床心理士、医療ソーシャルワーカーなどの甲状腺サポートチームが対象者とその家族へ心理的・社会的支援



「甲状腺通信」の発行：

検査対象者と保護者に年2回発行。

甲状腺検査の予定や最新の結果や話題の説明、様々な疑問に答えるQ&Aなどを掲載



ピアサポート：

令和4年度から活動を開始。AYA世代の甲状腺がん経験者へ情報や交流の機会を提供。

甲状腺検査

支援① 出前授業：

学校からの申込に応じて、検査対象者に甲状腺検査をわかりやすく説明。



「甲状腺検査」出前授業



小学生用



中高生用

出前授業の教材



出張説明会

支援② 出張説明会：

保護者、教職員、市町村職員、地域住民などに甲状腺検査、甲状腺と甲状腺がんに関する医学的特徴などを、医師が説明。

こころの健康度・生活習慣に関する調査 (ここから調査)

震災及び原発事故の体験や避難生活による様々な不安やストレスがある中、被災者の心身の健康状態と生活習慣を正しく把握し、一人一人に寄り添った適切なケアを提供する

支援① 個人結果通知

支援② 支援基準に基き電話支援

〒960-1295
福島県福島市光が丘3番地

福島県立医科大学
放射線医学県民健康センター

氏名 太郎 様
〒960-1295 0123456789

令和元年度 県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」
結果通知書

このたびは、「こころの健康度・生活習慣に関する調査」にご回答いただきまして、ありがとうございます。ご回答いただきました内容から結果通知書を作成しました。平成30年度調査にご回答いただいた方には、その結果も表示されています。こころの健康度や生活習慣のおおまかな状態を把握していただき、あなたの健康意識にお立てください。

詳しい状態や原因については、この結果のみで判断することはできません。ご心配がある方は、裏面に記載しておりますお問い合わせ先へご相談ください。

あなたのこころの健康度・生活習慣の状況
調査回答記入日 令和2年2月29日

結果の見方について
○印は、あなたがそれぞれの項目について、どの位置にあるかを示しています。
なお、回答がない、あるいは不明瞭であった項目の結果については、空欄となっています。

項目	今年度結果	前年度結果	評価
肥満度 (BMI)	(26.6)	(26.6)	BMI 18.5 25 30 35 40 結果値 (緑色) 評価 (赤色) 評価 (黄色) 評価 (緑色) 評価 (赤色)
食習慣	好ましく ない	好ましく ない	好ましい
運動習慣	少ない	少ない	多い
睡眠	不十分	不十分	十分
ストレス	多い	多い	少ない

※欄外に、アドバイスをお知らせしています。令和20年度に調査対象が「中学生」から「一学年」となつた方につきましては、平成30年度の結果は表示しておりませんので、ご了承ください。



セルフケアに役立つ簡潔な助言と個人結果を記載した手紙を送付

支援員による心身の状態の確認、ニーズの把握、専門的助言 (約3,000名/年)

こころの健康度・生活習慣に関する調査 (ここから調査)

支援③ パンフレット送付



こころの健康度と生活習慣サポートブック

健康に関する情報や医療機関、
相談窓口を紹介

支援④ 市町村毎の結果報告



13市町村連絡会にて
調査結果に基づいた専門的助言

支援⑤ 地域保健・支援機関・医療機関と連携して支援

妊産婦に関する調査

支援①： 調査の回答内容から相談・支援が必要と判断された方に、専任の助産師・保健師などによる電話やメールでの相談・支援

支援②： 心と身体の健康サポートブックや調査結果をまとめたリーフレットの配布による情報提供



心と身体の健康サポートブック リーフレット (抜粋)
(抜粋)

支援③： 市町村や産婦人科等関係機関と連携し支援へ

市町村主催行事での「よろず健康相談」

県民の身体、こころ、放射線などの不安に向き合うため、市町村の総合健診や健診結果説明会で、1対1で相談に応じる「よろず健康相談」を実施。



平成24年度から28年度まで計 **723** 回実施
平成29年度から福島県医師会に引継ぎ

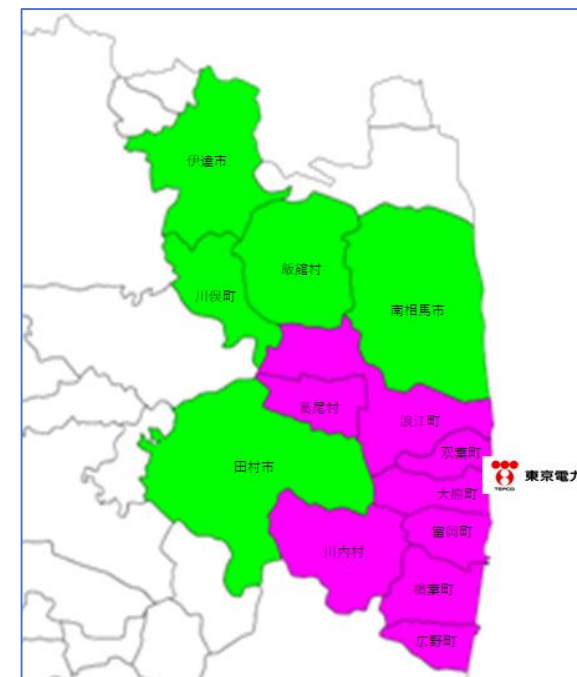
1 3 市町村連絡会

目的： 福島県「県民健康調査」の分析結果、県民の心身健康状態に関する情報等を共有し、県民健康管理センターと市町村の連携を深め、有効な支援に繋げる。

地域： 避難地域 1 3 市町村

(田村市、南相馬市、川俣町、広野町、
楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、
浪江町、葛尾村、飯舘村、伊達市)

対象： 上記市町村の保健師や保健福祉担当職員



1 3 市町村連絡会

- 担当者：
- リスクコミュニケーション室/健康コミュニケーション室 職員（教員）
 - 広報・国際連携室 職員
 - 当センター内の各室 職員（教員）
（健康診査、ここから調査、妊産婦調査など）

- 内容
- 検討委員会の報告（調査の進捗など）
 - 各調査の市町村毎の解析結果の報告や意見交換
 - 保健・健康増進活動について現状やニーズについて
フリーディスカッション
 - 国際シンポジウムなどのイベントの紹介

1 3 市町村連絡会



連絡会の様子（南相馬市）

- 検討委員会の報告
- 各調査の市町村毎の解析結果報告
- 国際シンポジウムなどの紹介
- 保健・健康増進活動について聴取
- フリーディスカッション など

令和3年度 令和4年度 令和5年度

計 **17** 回実施 計 **20** 回実施 計 **22** 回実施

（参加者のべ55名）（参加者のべ61名）（令和5年12月現在）

平成25年度～令和4年度に **342** 回実施

1 3 市町村連絡会

連絡会をきっかけとして継続支援へと繋げる努力

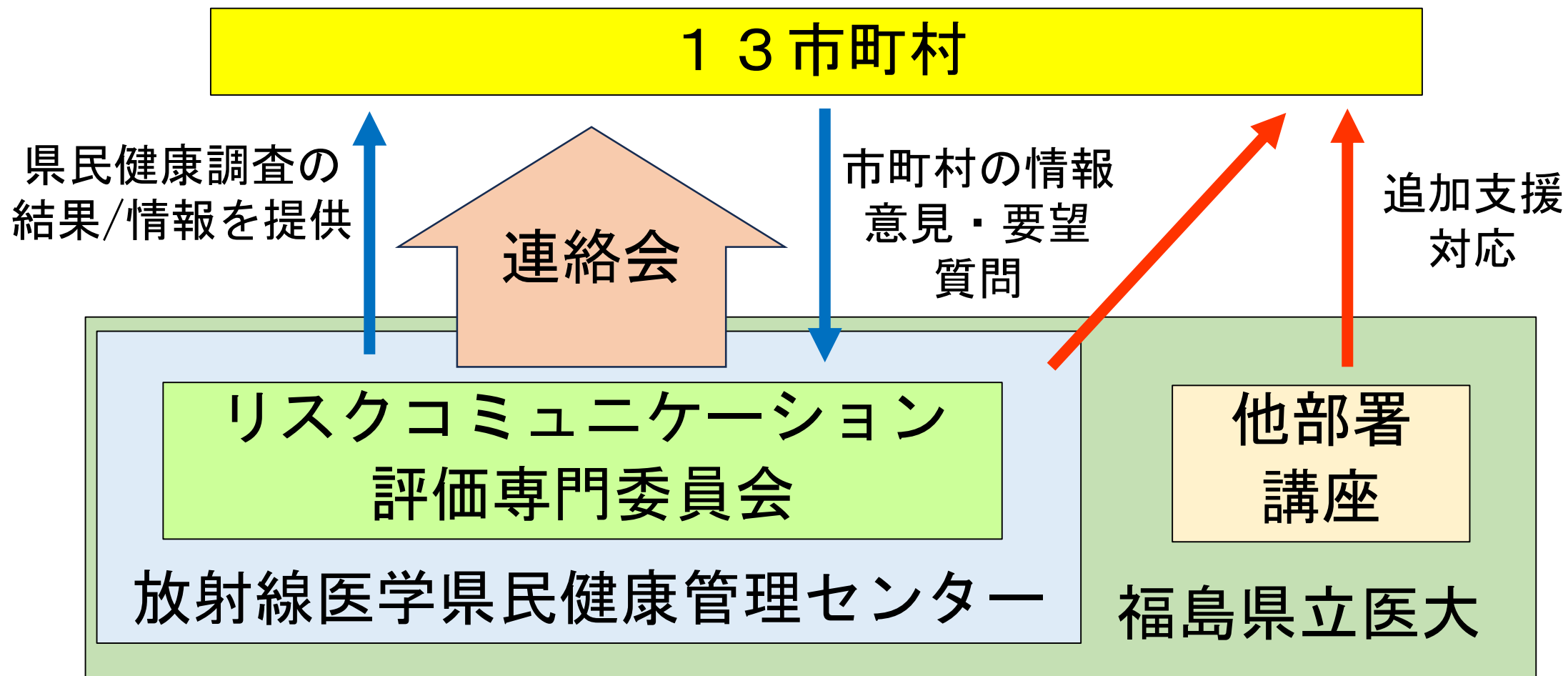


保健師派遣（川内村）



理学療法士派遣
（浪江町 ダンベル体操）

13市町村連絡会



県民健康調査や活動に13市町村の現状・要望・意見を反映

まとめ

- 福島県「県民健康調査」において、県民に対する「支援」は最も重要な活動の1つである。
- 特に13市町村連絡会を通じた被災13市町村との連携は重要である。
- 今後も市町村の要望や現状に沿った調査・活動を実施できるように努めていく。

Build Back Better, Together

よりよい復興を、ともに

2024年 福島県立医科大学「県民健康調査」国際シンポジウム

東日本大震災 ふくしまの学びを日本・世界へ

ご清聴ありがとうございました

- このスライドは、非営利かつ個人的な目的に限り閲覧することができます。

The following presentation slides are shared with symposium participants exclusively for personal, non-commercial, educational purposes.

- このスライドの著作権は、講演の発表者本人に帰属します(図表等の引用箇所は除く)。如何なる国・地域においても、また紙媒体やインターネット・電子データなど形態に関わらず、スライドの全部または一部を無断で複製、転載、配布、送信、放送、貸与、翻訳、販売、変造、二次的著作物を作成すること等は、固く禁止します。

Copyright of these slides belongs to the presenter and/or the Radiation Medical Science Center for the Fukushima Health Management Survey, Fukushima Medical University (except figures, tables, etc., cited from other sources). It is strictly prohibited to reproduce, reprint, distribute, transmit, broadcast, loan, translate, sell, modify, and/or create derivatives of any slides, in any physical or electronic medium anywhere in the world.

2024年 福島県立医科大学『県民健康調査』国際シンポジウム
公立大学法人福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター
国際シンポジウム事務局(広報・国際連携室)

✉ kenkani@fmu.ac.jp Tel: 024-581-5454(平日9~17時)

2024 Fukushima Medical University International Symposium on the Fukushima Health Management Survey

Secretariat of International Symposium

Office of Public Communications and International Cooperation, Radiation Medical Science Center for the Fukushima Health Management Survey, Fukushima Medical University

✉ kenkani@fmu.ac.jp, TEL: +81-24-581-5454 (Weekday, 9a.m. - 5 p.m. JST)